

# 資源ごみの収集中に 火災が発生しました

令和4年10月19日、資源ごみ（「革製品・その他プラスチック・スポンジ等」）の収集作業中に、収集していた車両から火災が発生しました。

発火の原因となったごみの特定はできませんでしたが、今回のような火災は、**中身が残っているガス缶・スプレー缶**や、**リチウムイオン電池**などからの出火が考えられます。

分別されずに出されたごみにより、今回のような車両の火災だけではなく、ごみ処理施設などで大きな火災となり、**収集ができなくなったり、ごみ処理施設が使えなくなってしまう可能性もあります。**

**分別を徹底し、ごみ出しのルールを守ってください。**



車両火災状況



燃えてしまった収集ごみ

電化製品に入っている電池は外して「金物・小型電化製品」と「乾電池」に分別して出してください。



ニカド電池・ニッケル水素電池・リチウムイオン電池（小型充電式電池）は電器店や家電量販店などで回収しています。



ガス缶・スプレー缶は使い切って穴を開け、ガス抜きして「ガス缶・スプレー缶」の品目に出してください。

※ガス抜きは必ず屋外など風通しの良い場所で行ってください。



いずれも収集車や処理施設での**火災原因**となります。

御協力をお願いします。

